

総合的な学習の時間学習指導案

単元名（題材名）「SDGsで描く、よりよい未来」

令和4年○月○日（○） 第○校時 体育館

みどり市立大間々東小学校 6年○組 指導者 ○○ ○○

I 単元（題材）の構想

1 単元（題材）の目標及び児童の実態

	目 標	児童の実態
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全ての人々が持続可能で幸せな世界をつくるためには、様々な文化や習慣を尊重したり、努力や工夫をしたりしていることを理解する。 ・ 調査活動を目的や対象に応じた適切さで実施することができる。 ・ 全ての人々が持続可能で幸せな世界を構築することに関する理解は、多文化共生とSDGsの取組について探究的に学習してきたことの成果であると気付く。 	略
思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・ SDGsの取組を調べる活動を通して感じた関心を基に課題を設定し、学習活動の構想を立て解決の見通しをもつことができる。 ・ 課題の解決に必要な情報を、手段を選択して多様に収集し、種類に合わせて蓄積することができる。 ・ 課題の解決に向けて、観点に合わせて情報を整理し、考えることができる。 ・ 相手や目的に応じて、集めた情報や自分の考えを分かりやすく表現することができる。 	略
学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自己決定した活動に目的意識をもって粘り強く取り組み、自分のよさを発揮しながらよりよい解決に向けて工夫しようとする。 ・ 自分と違う意見や考えのよさを生かしながら協働して学び合おうとする。 ・ 地域や世界のために自分にできることを主体的に見つけようとする。 	略

2 評価規準

知識・技能	<p>① 全ての人々が幸せな世界をつくるためには、様々な文化や習慣を理解し、尊重して共に生きる社会を構築したり、様々な人が持続可能な社会をつくるために努力や工夫をしたりしていると理解している。</p> <p>② 図や表を使って整理するよさを理解して、目的に応じて考えるための技法を活用して、分析している。</p> <p>③ 世界の課題に対する自分の行動の変容は、多文化共生とSDGsの取組について探究的に学習してきたことの成果であると気付いている。</p>
-------	--

思考・判断・表現	<p>①SDGs と自分たちの生活の関わりから課題を明確に設定し、その解決に向けて行いたいことについて順序を考えながら計画を立てたり、解決する過程の中で新たに課題を見付けたりしている。</p> <p>②SDGs の取組に必要な情報について、効果的な手段を集団で選択しながら収集し、内容ごとに分類して蓄積している。</p> <p>③持続可能な社会をつくるために情報を整理したり、理由や根拠を明らかにして比較したり関連付けたりしながら、解決に向けて考えている。</p> <p>④相手意識や目的意識を明確にもちながら、SDGs 解決に向けた活動内容を工夫して分かりやすくまとめたり、発信したりしている。</p>
主体的に学習に取り組む態度	<p>①自らの経験や生活と SDGs を関連付け、持続可能な社会の構築に向けて、自分の思いや願いをもったり、自他のよさを生かしたりしながら協力してその実現に向けて粘り強く課題を解決している。</p> <p>②ゲストティーチャー（以下 GT とする）や友達と主体的に関わり、様々な立場の人の意見を受け入れたり、友達と協力して課題解決に取り組んだりしている。</p> <p>③SDGs の解決に向けた活動を通して、自身の生活を改善したり、地域や世界のためにできることを考え、自ら行動しようとしたりしている。</p>

3 指導及び評価、ICT 活用の計画（全 70 時間：本時第 37 時）

※指導に生かす評価○、評定に用いる評価●

時	学習活動	知	思	主
1 ～ 3	<p>・探究課題と出会う。</p> <p>○「こんな日本・世界になってほしい」ことについて意見交換する。</p> <p>○世界や日本の SDGs への取組現状を知る。</p> <p>○世界や日本の SDGs への取組でうまくいっていない現状・事実・理由などを GT から話を聞く。</p> <p>○身近にある SDGs についての取組を調べる。 (みどり市の取組、企業の取組、ゲームに取り組む)</p> <p>(う) <主体的な学びの促進></p>			●
4 ～ 6	<p>・単元の課題を把握する。</p> <p>○なぜ SDGs に取り組む必要があるのか、SDGs と自分とのつながり（関わりを）で考えたことを基に、自分は何をしたらよいか、何ができるかを話し合う。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">単元の課題 「みんなが幸せで仲良く過ごせる未来をつくろう。」</p> <p>(ア) <主体的な学びの促進></p>		●	
7 ～ 10	<p>・追究の見通しをもつ。</p> <p>○よりよい未来にするために必要なことを SDGs との関わり（視点）から考える。</p> <p>・SDGs の 1・7 と関連するな。</p> <p>・SDGs の 3・4 は達成が困難な項目なので、ここを高めていくことは必要だな。</p> <p>(ア) <焦点化></p>	●	●	
11 ～ 13	<p>・課題の設定。</p> <p>○追究の見通しを基に、自らが取り組む課題を設定する。</p> <p>【課題例】</p> <p>安全で平和な世界を目指そう。</p> <p>全ての人、健康で平等な世界にしよう。</p> <p>豊かな自然の守られた未来をつくろう。</p>		●	
14	<p>・情報の収集。</p> <p>○本やインターネットで調査する。</p>	②	②	

25	○アンケート調査を行う。 ○地域の人やGTにインタビューする。 (あ) <データ蓄積>			
26 ・ 27	・ 整理・分析。 ○集めた情報が自分のテーマに沿っているか、正しい情報か等、整理・分析する。 ・Google スライドに入力し、情報を整理するとともに蓄積する。 ・フィッシュボーンチャートを用いて構造化する。 ・座標軸を用いて関係性を整理する。 (あ) <思考の整理・可視化>	②	③	
28 ↳ 37 (本時) ・ 38	・ まとめ・表現。 ○要点を押さえ、見やすくわかりやすくまとめる。(パソコン活用、リード文、キャッチフレーズの挿入など) ○個性を發揮し、こだわりや自己主張のあるまとめ方に挑戦する。 ○友達やGTにできあがったプレゼンテーション資料を見てもらい、アドバイスをいただく。 ○アドバイスをもらい、改善する内容を検討する。自身の考えが変わったところや感想を伝え合う。 ○単元の課題が達成できたかを自己評価する。 (う) <共有>		④	②
39 ↳ 42	・ 課題の設定。 ○前時のGTによるアドバイスとこれまでの学習を基に、みんなが幸せで仲良く過ごせる未来を想定し、よりよい未来をつくっていくためにはどうしたらよいかを考え課題を設定する。 【課題】 いろいろな人に、よりよい未来をつくっていくための取り組みを呼びかけよう。			①
43 ↳ 53	・ 情報の収集。 ○活動計画を基に自分のテーマについて調べる。 ○本やインターネットで調べる。 ・調べ方やまとめ方なども参考にする。 ○資料を集め、取材をする。 ・本、雑誌、パンフレット、新聞、テレビ、イベント、インターネットなどから自分のテーマに関わる資料をできるだけ集める。 ○地域の人やGTにインタビューする。 ○体験できることに挑戦する。 ○それぞれの活動の様子を動画や写真に記録しておく。 ○入手した資料などはファイルやフォルダーに蓄積する。 ○調べたこと、取材したこと、その日の活動などは、Google スライドに詳しく記録しておく。 (あ) (う) <データ蓄積>	②	②	
54 ・ 55	・ 整理・分析。 ○自分が考えた方法のメリットやデメリット、実現可能性や可能にするための方法を吟味する。 ・KWLシートを用いて、整理する。 ○必要な条件が満たされているか考える。 (あ) <思考の整理・可視化>	②	③	
56 ↳	・ まとめ・表現。 ○地域の方に向けてみんなが幸せで仲良く過ごせる未来への提言を発信す	①	④	

68	る。 (う) (え) <共有><学習の個性化・焦点化>			
69 ・ 70	・単元の学習の振り返り、自分の変化や成長を見つめ直す。 ○これまでの学習をファイルやプレゼンテーション資料、掲示物等から振り返り、頑張ったことや成果を考える。 (あ) (い) <思考の整理><データ蓄積・共有>	③		③

活用する学習支援ソフト等	(あ) Google スライド (い) Google フォーム (う) Jitsi Meet (え) Google サイト
活用するコンテンツ等	(ア) https://www.unicef.or.jp/kodomo/sdgs/ (SDGs CLUB)

II 本時の学習 (37/70)

1 ねらい 相手意識や目的意識を明確にして表現することを通して、様々な立場の人の意見を受け入れたり、新しい考えを発見したりするなど、課題解決に向けて主体的に取り組むことができる。

2 展開

主な学習活動	主な発問	指導上の留意点
児童(生徒)の反応・発言等 [S]	☆ICT 活用<分類>	
1 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。(5分) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <めあて> 自分たちがこれからできることをゲストティーチャーに発表し、改善点を見付けよう。 </div>		○本時で何をするのか見通しをもたせるために、前時の振り返りを発表させる。
2 班別でGTの自己紹介を聞く。(10分) S: 私たちの発表をきいてくれるGTはこのような活動をしている人なんだ。	☆Jitsi Meetに接続し、GTからの話を聞く。<共有>	○GTの話聞く中で、興味を持ったり新しく気付いたりしたことなどをワークシートに記録するように声かけをする。 ○通信がとぎれた際に学びが止まらないように、GTに事前に用意してもらった資料を児童に配布する。
3 班別でGTに自分たちの提言を発表したり、他の班の発表を聞いたりする。(15分) S: そういう考えもあるのか。 S: 自分たちのグループにも取り入れたい。	☆Google スライドを画面共有し、発表したり、他の班の発表を聞いたりする。<共有>	○単元の課題や班の課題を意識して発表したり、発表を聞いたりできるように声かけをする。
4 GTから助言してもらおう。(10分) S: アドバイスを取り入れよう。 S: もう一度考え直したいことができた。 S: 考えが整理できた。	☆GTからのアドバイスを聞く。<共有>	○GTのそれぞれの班に対する助言を聞く中で、考えが変わったり、新しい考えに気付いたりしたことをメモに残すように助言する。

5 本時のめあてに対するまとめを確認し、学習内容を振り返る。
(5分)

S : 新しい考え方を発見できた。
S : これからの自分たちの活動についてさらに考えたい。

<振り返り>

S : ゲストティーチャーからのアドバイスを聞いたり、他の班の発表を聞いたりして、今まで思いつかなかったことに気づけた。未来のみんなが少しでも幸せに暮らせるように、自分たちに今できることをもっと考えよう。

○GTからのアドバイスや他の班の発表を聞いて、考えが変わったり、新しい考えがもてたりしたことをワークシートに振り返るように助言する。
○次時の学習への関心を高められるように、児童の振り返りを共有する。

◎評価項目（主体的に学習に取り組む態度②）ワークシート、発言

・GTや友達と主体的に関わり、様々な立場の人の意見を受け入れたり、新しい考え方を発見したりするなど、課題解決に向けて主体的に取り組んでいる。